

普通教室でWindows タブレットによる協働学習を实践

普通教室でWindows タブレットの導入をはかり、一般の授業での協働学習を実践。生徒の自発性と学習意欲の向上に繋がっています。



先生が
お手本を見せてから、
子供たちが実践

Windows タブレットをグループで
1 台活用することで、操作が長けて
いる子が苦手な子に教える、さらに
子どもたちが自分たちで役割分担を
しながら、協力して学習

用途に合わせて選べるNECのICT機器

Windows 10 搭載タブレット

ニーズに合わせたモデルを選択可能。
使いやすさを追求した Windows タブレット。



電子黑板



⚠ 安全に関するご注意

ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。本商品は24時間以上の長時間連続使用を前提とした設計になっております。バッテリーは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなった場合は、純正の新しいバッテリーと交換してください。

最新情報を下記で提供しています。

お問い合わせ、ご用命は下記の販売店へ

NEC ビジネスPC情報発信サイト

<http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/>

●Microsoft、Windows、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面に使用しています。●BrainBoard、NECディスプレイソリューションズ株式会社登録商標です。●その他本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することや供給を停止することがありますのでご了承ください。●本カタログで使用されている商品、本カタログおよび広告画に撮影したものです。そのため、実際の商品とは若干の色差・外観など多少異なることがあります。また、写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。●画面は1メモリ合致です。●商品写真の大きさと商品写真は必ず一致させます。


UTD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

協働学習による、自発的な学習の取り組みと 学習意欲の向上に役立つ Windows タブレット。

石川県津幡町教育委員会は、子どもたちのITスキル、情報リテラシーの向上に向けて、町内の小中学校、全11校にWindows タブレット「VersaPro タイプVZ」を105台導入しました。中条小学校では、総合的な学習における協働学習で、Windows タブレットを活用しています。

子どもたちの情報リテラシー 育成に適したツールを


子どもたちがインターネットで必要な情報を探して活用するなど、情報リテラシーを身につけるのにWindows タブレットは最適なツールと位置付けています。パソコン教室での授業とは別に、普通教室でも使えるので、さまざまな教科での活用が期待できます。



津幡町教育委員会
教育総務課 主事*
佃田 直史 様

わかりやすい授業の実現、子ども たちの学習意欲の向上に期待


Windows タブレットを活用した授業の最も良い点は、子どもたちの興味・関心が高まり、学習意欲が向上すること。これが学力の向上に結び付けば、大きな導入効果になると考えています。今後、更に学習効果の上がる授業が実現できるよう取り組みを進めます。



津幡町立中条小学校
校長*
川村 敏幸 様

ICTを活用した協働学習で 総合的な学習がより効果的に

グループで1台のWindows タブレットを使う協働学習では、1人がタブレットのカメラで撮影し、1人はそれを説明する言葉を考えるなど、子どもたち各々が主体的に役割分担をしながら力を発揮します。コミュニケーションも深まり、達成感を味わえます。



津幡町立中条小学校
6年担任*
平木 貴裕 教諭

*所属および役職は2013年度現在

教え合い、学び合う「協働学習」にWindows タブレットを活用

津幡町教育委員会では、Windows タブレットの活用方法について先生向けに研修を行いました。中条小学校では、複数人のグループで学ぶ協働学習での活用が進んでいます。12.5型の大画面で見やすい「VersaPro タイプVZ」は、複数人利用という環境でも快適に使えます。「子どもたちが互いに教え合い、学び合う協働学習の良さにWindows タブレットが加わることで、今まで以上に自発的な学習意欲の向上が期待できます。また、電子黒板や大型モニタを組み合わせれば、表現力や発表する力の向上にもつながります」(佃田様)



■複数人のグループで学ぶ協働学習にWindows タブレットを取り入れることにより、自発的な学習意欲の向上に期待しています。

総合的な学習の時間でITスキル、情報リテラシーを学ぶ

平木先生は総合的な学習の時間で、Windows タブレットを利用した協働学習を行っています。「普通教室ではWindows タブレットを使うことで、複数人で協力しながら学習できて、取り組む子どもたちの主体性が高まるのが感じられます。国際交流ネットワークJapan Art Mileのアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトに

参画し、台湾の小学生と壁画の共同制作を進めました。その過程で、コミュニケーション力や、翻訳に必要な語学力を身につけられますし、Windows タブレットを使うことでICT機器の操作に慣れることもできます。インターネットの活用方法が学べることに加え、異文化交流という点でも非常に有意義な取り組みです」(平木先生)



広がるWindows タブレット活用

「Windows タブレットを使える場面は、アイデア次第でたくさんあると思います。現在は総合的な学習の時間で利用していますが、カメラやマイクなどの機能を使って国語の授業で作った作品を発表したり、社会科では学んだ内容を紹介する動画を作るなど、学んだことを形にまとめる場面でもWindows タブレットが活用できると思います。電子黒板や大型モニタとの接続によるグループ単位の成果発表なども積極的に進めていきます。」(平木先生)



■電子黒板と組み合わせた授業も活用例の1つ。目的や場面に応じて、さまざまな教科で活用できます。

導入事例について詳しくはこちら → <http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/> の「導入事例」をクリック

お客様紹介

● 石川県津幡町教育委員会 様

https://www.town.tsubata.ishikawa.jp/soshiki/index_kyouikuinkai.html
平成25年度の学校教育目標として、「豊かな人間性と主体的に生きる力を身につけ、自らが社会の一員であることを自覚した児童生徒を育成する」ことを掲げ、21世紀の社会を担う子どもたちに求められる“21世紀型スキル”の育成に取り組んでいます。

● 津幡町立中条小学校 様

<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~chuuje/NC2/htdocs/>
津幡町立中条小学校は、明治8年創設の太田小学校を前身とする歴史ある学校です。校訓「心身ともに健康」のもと、子どもたちがたくましく健やかに成長してくれることを願い「知・徳・体」バランスのとれた教育活動に取り組んでいます。

***学校ICT**

ICT(Information and Communication Technology)とは、情報や通信に関する技術の総称で、国内では主に公共事業の分野において多く使われる用語です。学校教育において、パソコン・電子黒板・実物投影機・動画映像・プレゼンテーションソフトなどICTを活用することで、グラフや資料を効果的に使用し、授業の理解力の向上と効率化を図ることが期待されています。